



月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)

電話(鉄電) 千葉 2935・2936番
(公) 043(222)7207番

92.10.2 No. 3667

強制配転者の原職奪還へ ストライキ 辞さず闘おう!

第19回定期大会の成功へ

動労千葉第一九回定期大会が、一〇月三―四日、のさか望洋荘で開催される。今大会で獲得すべき最も重要な課題は、①、J R当局に対し、強制配転者の原職復帰の道筋をはっきりとさせることであり、そのためにはストライキも辞さず闘い抜くことにある。

強制配転者の原職復帰については、この間動労千葉とJ R東日本との対立点の組織の根幹に関する問題となっている。J R総連と結託し、差別・選別Ⅱ不当労働行為を繰り返してきた「J R体制」に今こそ断を下ろさなければならぬ。

団体交渉の中では、「経緯は認識しているが、全体の需給・能力等」と言うのでは「任用の基準」と大差ない。こんな回答をわれわれは求めているのではない。全体の需給や、適格性などを無視してきたのはJ R当局ではないか。

この十一月一日には、「非効率店舗」として五店舗の廃止が提案されている。原職奪還に向けた闘いは、まさに正念場をここに迎えたのだ。

全力を挙げて運転関係への復帰の道筋を獲得しなければならぬ。

全組合員は、ストライキも辞さず闘うことを確認しよう!

自衛隊海外派兵阻止 PKO連続闘争に起ろう!

②、自衛隊の海外派兵―カンボジアPKO阻止の闘いに、組織の総力を上げて立ち上がるのである。

「国際貢献」の名の下に、何がなんでも自衛隊をアジアに派遣する意図は、すでに明らかになっているように、日本経済の基盤の確保を軍事で補完することに他ならない。

われわれは、闘いに立ち上がっているアジア民衆の決起に応え、日本の労働者・労働運動の使命として、自衛隊の海外派兵を阻止しなければならないのだ。

そのためにも、一〇・一一三里塚現地全国集会―一〇・一三小牧現地闘争―一〇・二二国際反戦デーの連続する闘いに全力で決起することが求められている。全力で今秋反戦闘争の大高揚を勝ちとろう!

- 10・11 三里塚現地集会
- 10・13 成田市東峰 反対同盟所有地12時 小牧現地闘争
- 10・13 知事春日井市 如意中(中)公園
- 10・21 首都総決起集会
- 東京・日比谷野外音楽堂10時